

国際観光学科 2年 前期 総合科目

1. 自然と環境
2. ユニバーサル論
3. 富山コミュニティ一論
4. 生涯スポーツ実技
5. 実践英語Ⅲ
6. 英語コミュニケーションⅢ
7. 英語コミュニケーションⅤ

国際観光学科

科目名: 自然と環境			担当教員 氏名: 石川 美澄		
単位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	前期	総合科目	講義	選択
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			国内・海外ツアー添乗業務の実務経験を活かして、観光資源の現状や課題について教授する。		
授業科目の学習教育目標の概要:			キーワード		
自然や環境に配慮した観光は、近年ますます重要視されている。本授業では、まずサステナブルツーリズムとエコツーリズムの理念・枠組みについて理解を深める。次に、国内外のトレインやフット・バスの事例を収集・分析し、トレイン等のコース・マップの開発に必要な情報・規制について整理する。そして最後に、富山県を起点としたトレインを企画し発表する。			サステナブルツーリズム／エコツーリズム／SDGs／自然資源／歩く観光		
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1、2、3、7			
A 知識・理解力		知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。			
C 論理的思考力		自分が選択や提案したモノ・コトに対して、論理的に説明できる能力を養う			
G 倫理観		自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 30 %	レポート: 40 %	発表: 30 %	実技試験: %	その他: %	
特記事項:					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プрезентーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業中に課すコメントシート(レポート)として実施・評価する。テストは6回目の授業の一部として実施する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: コメントシートに対する講評は授業中に行う。					
授業計画				準備学習(予習・復習等)	
				学習内容	学習に必要な時間(分)
①イントロダクション	【復習】ノートの要点整理	【復習】30分			
②サステナブルツーリズムの歴史:持続可能な開発から持続可能な観光へ	【予習】指定した用語・事例等の下調べ 【復習】ノートの要点を整理する	【予習】30分 【復習】30分			
③サステナブルツーリズムの現在:GSTC-I, GSTC-D, JSTS-D, SDGs	【予習】指定した用語・事例等の下調べ 【復習】ノートの要点を整理する	【予習】30分 【復習】30分			
④エコツーリズムの歴史	【予習】指定した用語・事例等の下調べ 【復習】ノートの要点を整理する	【予習】30分 【復習】30分			
⑤エコツーリズムの現在	【予習】指定した用語・事例等の下調べ 【復習】ノートの要点を整理する	【予習】30分 【復習】30分			
⑥小括	【予習】指定した用語・事例等の下調べ 【復習】ノートの要点を整理する	【予習】30分 【復習】30分			
⑦トレインに関する基礎知識・グループワークに関する説明	【予習】指定した用語・事例等の下調べ 【復習】ノートの要点を整理する	【予習】30分 【復習】30分			
⑧トレイン等の国内外事例の収集・分析	【予習】指定した用語・事例等の下調べ 【復習】ノートの要点を整理する	【予習】30分 【復習】30分			
⑨トレイン等の国内外事例の収集・分析	【予習】指定した用語・事例等の下調べ 【復習】ノートの要点を整理する	【予習】30分 【復習】30分			
⑩富山を起点としたトレイン開発(グループワーク)	【予習】指定した用語・事例等の下調べ 【復習】ノートの要点を整理する	【予習】30分 【復習】30分			
⑪富山を起点としたトレイン開発(グループワーク)	【予習】指定した用語・事例等の下調べ 【復習】ノートの要点を整理する	【予習】30分 【復習】30分			
⑫中間報告/トレイン実施に必要な高低差マップ等の作成(グループワーク)	【予習】興味のあるエリアを決め、必要な事項をまとめる 【復習】授業中に指摘した点について調査を進める	【予習】60分 【復習】60分			
⑬トレイン実施に必要な高低差マップ等の作成(グループワーク)	【予習】事例分析を進め、疑問点を洗い出す 【復習】結果をまとめ、発表資料を作成する	【予習】60分 【復習】60分			
⑭トレイン実施に必要な高低差マップ等の作成(グループワーク)	【予習】発表の練習をする 【復習】意見・質問に対する改善点等をまとめる	【予習】60分 【復習】60分			
⑮成果発表会ならびに総括	【予習】発表の練習をする 【復習】意見・質問に対する改善点等をまとめる	【予習】60分			
使用テキスト: 使用しない	その他参考文献など:木村宏・下休場千秋編(2019)『歩く滞在交流型観光の新展開』、CATS叢書第12号、北海道大学観光学高等研究センター。				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 日頃から、ツーリズムはもちろん、自然や環境、開発等に関するニュースを積極的に収集することが望ましい。					

国際観光学科

科目名： ユニバーサル論			担当教員 氏名： 鷹西 恒		
単位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	2年次	前期	総合科目	講義	必修
実務経験を用いてどのような授業を行っている	講師が障害当事者として経験していることをフィードバックする				
授業科目の学習教育目標の概要：					キーワード
<p>ツーリズムの視点からユニバーサル論を理解する。高齢者であろうと、障害者であろうと、誰でも、外出したい、旅に出たい、旅先で温泉に入りたい、また、海外旅行にも行ってみたいという希望は持っているもの。それらを実現するために、現在ではさまざまな工夫が各界でなされている。宿泊施設、航空機、鉄道、クルーズ船、バスなどの運輸業界、また飲食業界等の産業界ではバリアフリー施設や空間が準備されつつある。それらの環境をうまく活用するためには、施設や空間の正確な情報の提供や、更新が必要であり、また、誰もが気兼ねなく旅を楽しめる旅行商品の企画開発も重要である。さらにこのようなハードの部分だけではなく人々の「心のバリアフリー」も極めて重要であり、すべての人々を受け入れることのできるインクルーシブ社会についても理解する</p>					ユニバーサルデザイン バリアフリー インクルーシブデザイン
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		2. 3. 4. 6. 8. 10.			
A 知識・理解力		知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。			
C 論理的思考力		情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。			
D 問題解決力		問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト： 50 %	レポート： 40 %	発表： %	実技試験： %	その他： 10 %	
特記事項： その他とは出席率や学習への取り組み姿勢(提出物等)、態度のことである。					
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プрезентーション (実習、フィールドワーク)					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：④前後でレポート評価、⑧まとめで試験を行う					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：レポート返却等で実施する					
授業計画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①UD、バリアフリーの問題点、インクルーシブデザイン			【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
②UDとマナー～心のバリアフリー～			【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
③UDとスポーツ(体験含む)			【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
④UDと公共交通			【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑤UDとファンション			【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑥UDと娯楽(Live、スポーツ、ディズニー等)			【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑦UDと旅行～観光資源(宿泊、買い物、体験等)について考える～			【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑧まとめ			【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
使用テキスト：文献、資料、論文などを基に作成した参考資料を毎回の講義で配布する。			その他参考文献など：ユニバーサルデザイン 一バリアフリーからの問いかけー、学芸出版社、川内美彦、ISBN:978-4761522582		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：					

国際観光学科

科目名：富山コミュニティー論			担当教員 氏名：鷹西 恒、米田 晶、齋藤 望		
単位	開講時期(年次・期)	科目的区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	2年次	前期	総合科目	演習	必修
実務経験を用いてどのような授業を行っている			各担当教員の実務経験を活かして、学生が地域の福祉的課題に実践的に取り組めるよう指導・助言を行う		
授業科目の学習教育目標の概要：			キーワード		
地域つくりかえ学で学んだことに基づき、地域の課題について、より実践的に学びを深め、本学の教育目標である、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高めるのが目標である。ゼミ形式で専任教員が小グループを担当し、地域の課題解決に向けた活動を体験する。また、体験をまとめ、学内で報告する。			教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」、『私』宣言、地域社会に生きる「私」、実践躬行		
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 2・3・5・7・8・10			
D 問題解決力		問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、解決できる。			
E 自己管理力		地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。			
G 倫理観		自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。			
F チームワーク・リーダーシップ		義務と権利を適正に行使しつつ、地域社会に生きる「私」になる。			
C 論理的思考力		【生涯学習力】自ら設定した目標(『私』宣言)に対して、それを行動に移し、「つくり、つくりかえ、つくる」の実践力を持つ。			
成績評価の方法・基準：以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト： %	レポート： 30 %	発表： 30 %	実技試験： %	その他： 40 %	
特記事項：					
アクティブラーニング要素： <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決型学習 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プrezentation <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：					
授業計画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①【学科全体】学修の進め方、地域調査の基本について、地域社会に生きる「私」をつくる			【予習】シラバスの確認	30分	
②【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる①			【予習】計画書の作り方を調べる	30分	
③【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる②			【予習】計画書の作り方を調べる	30分	
④【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる③			【予習】計画書の作り方を調べる	30分	
⑤【AD】連携期間との打合せ			【予習】計画書の確認	60分	
⑥【AD】調査計画の修正			【予習】計画書の確認	60分	
⑦【AD】地域課題のフィールドワーク①			【予習】計画書の確認と準備	60分	
⑧【AD】地域課題のフィールドワーク②			【予習】計画書の確認と準備	60分	
⑨【AD】地域課題のフィールドワーク③			【予習】計画書の確認と準備	60分	
⑩【AD】地域課題のフィールドワーク④			【予習】計画書の確認と準備	60分	
⑪【AD】地域課題の解決策の検討			【予習】フィールドワークまとめ	60分	
⑫【中村】ボランティア活動を通しての「私」の育ち(ボランティア活動発表)			【予習】発表準備	60分	
⑬【AD】学習成果のまとめ①			【予習】報告書の書き方を調べる	60分	
⑭【AD】学習成果のまとめ②			【予習】報告書の書き方を調べる	60分	
⑮【学科全体】学習成果報告会			【予習】発表準備 【復習】レポート作成	120分	
使用テキスト：			その他参考文献など： 佐藤郁哉：フィールドワークの技法一問を育てる、仮説をきたえる。		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 「地域つくりかえ学」で学んだことに基づいて地域課題に主体的に実践的に取り組む。積極的な「つくり、つくりかえ、つくる」を目指そう。					

国際観光学科

科目名: 生涯スポーツ実技			担当教員 氏名: 澤 聰美		
単位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	2年次	前期	総合科目	講義	選択
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:					
授業科目の学習教育目標の概要:					
実技を通して、自身の身体とその健康について、理解を深めることを目標とする。科目のキーワードは「向上心」、「チームワーク」、「コミュニケーション」であり、相互にコミュニケーションをはかりながら、調整を図りながら、問題解決にあたる基本行動を学ぶ。採用するスポーツ種目は、フィットネス、ウォーキング、ビーチボール、フレッシュテニス、レクリエーション活動などである。					
富山県発祥のスポーツ、心身の健康					
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1、3、5、8、10			
A 知識・理解力		知識を体系的に理解できる。			
F チームワーク・リーダーシップ		他者と協調・協働して行動できる。			
H コミュニケーション力		言語や体を用いて自己・他者の理解を深めるコミュニケーションができる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: %	レポート: 60 %	発表: 30 %	実技試験: %	その他: 10 %	
特記事項:					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート< グループワーク > プrezentation 実習、フィールドワーク テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:発表・実技試験等の実施時期:毎回、授業の終わりに気づき・学びシートを提出し、学びを蓄積し、15回目に振り返りのレポートを作成する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:コメントを書いて返却する。					
授業計画				準備学習(予習・復習等)	
				学習内容	学習に必要な時間(分)
①オリエンテーション				[復習]これまでの運動に対する自分の関わりについて振り返る	60分
②心と体の健康チェック、フィットネス1				[復習]自分の健康に合った運動の実施	60分
③フィットネス2 大学周辺をウォーキング				[復習]スマホを活用した運動量の測定	60分
④富山の観光名所をウォーキングで紹介しよう【講義: 計画書の作成】				[復習]観光名所を紹介するレポートの作成	120分
⑤富山県発祥のスポーツの体験:ビーチボール1				[予習]ビーチボール誕生について調べる	60分
⑥富山県発祥のスポーツの体験:ビーチボール2				[復習]ビーチボールに向けての体力向上トレーニングの実施	60分
⑦富山県発祥のスポーツの体験:ビーチボール3 試合運営の経験				[復習]試合運営のやりがいと難しさについて	60分
⑧富山県発祥のスポーツの体験:フレッシュテニス1				[予習]フレッシュテニス誕生について調べる	60分
⑨富山県発祥のスポーツの体験:フレッシュテニス2				[復習]フレッシュテニスに向けての体力向上トレーニングの実施	60分
⑩富山県発祥のスポーツの体験:フレッシュテニス3 試合運営の経験				[復習]試合運営のやりがいと難しさについて	60分
⑪レクリエーション活動の体験				[復習]レクリエーションの意義についてまとめる	60分
⑫スポーツ・レクリエーション大会:チームによる企画案の作成1				[復習]企画案の作成	120分
⑬スポーツ・レクリエーション大会:チームによる企画の準備				[予習]用具の準備・作成	60分
⑭スポーツ・レクリエーション大会の運営				[復習]試合運営のやりがいと難しさについて	60分
⑮スポーツ・レクリエーションで地域に貢献するには【講義】				[復習]振り返りレポートの作成	120分
使用テキスト:必要に応じて配布する				その他参考文献など:	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):運動にふさわしい服装で、装飾品は怪我につながるのではずすこと。朝食を取ってから来ること。					

国際観光学科

科目名: 実践英語Ⅲ			担当教員 氏名: 毛利 有一		
単位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	前期	総合科目	演習	必修
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			ホテルマンとしての経験を活かして、ホスピタリティを重視した実践的な英語について教授する。		
授業科目の学習教育目標の概要:			キーワード		
この授業は実際に通じる英語の習得のため、読む、聞く、話す、書くの4技能の基本を中心につける。中学校以降の学習の中で、積み残した個所があればそれを補い、さらに正確な英語力を身につけるための授業である。基本的な文法、構文、語彙力の向上に加え、読解能力の向上、聽解能力の向上、会話力の向上、作文力の向上を目指す。実践英語Ⅱをさらにステップアップしたものである。			TOEIC、リスニング、リーディング、映画		
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		1. 2. 3. 4. 5. 10			
A 知識・理解力	英語を体系的に理解する。				
B 専門的技術	正確な英語力習得を目指し、自己実現に技術が活用できる。				
C 論理的思考力	複眼的、論理的に英語の4技能を発揮できる。				
H コミュニケーション力	クオリティの高い英語力で他者との理解を深めるコミュニケーションができる。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 80 %	レポート: %	発表: %	実技試験: 0 %	その他: 20 %	
特記事項:					
アクティブラーニング要素: (課題解決型学習) ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 試験及びレポート提出の時期は別途指示する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 採点後口頭で伝えるかコメントを添えて返却する。					
授業計画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips	【予習】配布資料および動画の予習 【復習】配布資料および動画の復習	【予習】30分 【復習】60分			
②TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips	【予習】配布資料の予習 【復習】配布資料および動画の復習	【予習】30分 【復習】60分			
③TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips	【予習】配布資料の予習 【復習】配布資料および動画の復習	【予習】30分 【復習】60分			
④TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips	【予習】配布資料の予習 【復習】配布資料および動画の復習	【予習】30分 【復習】60分			
⑤中間評価と振り返り①	【予習】これまでの範囲の復習	【予習】30分 【復習】60分			
⑥TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips	【予習】配布資料の予習 【復習】配布資料および動画の復習	【予習】30分 【復習】60分			
⑦TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips	【予習】配布資料の予習 【復習】配布資料および動画の復習	【予習】30分 【復習】60分			
⑧TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips	【予習】配布資料の予習 【復習】配布資料および動画の復習	【予習】30分 【復習】60分			
⑨TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips	【予習】配布資料の予習 【復習】配布資料および動画の復習	【予習】30分 【復習】60分			
⑩中間評価と振り返り②	【予習】これまでの範囲の復習	【予習】30分 【復習】60分			
⑪TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips	【予習】配布資料の予習 【復習】配布資料および動画の復習	【予習】30分 【復習】60分			
⑫TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips	【予習】配布資料の予習 【復習】配布資料および動画の復習	【予習】30分 【復習】60分			
⑬TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips	【予習】配布資料の予習 【復習】配布資料および動画の復習	【予習】30分 【復習】60分			
⑭TOEIC対策 / Movie trailers and clips	【予習】配布資料の予習 【復習】配布資料および動画の復習	【予習】30分 【復習】60分			
⑮最終的な振り返り	【予習】これまでの範囲の復習	【予習】30分 【復習】60分			
使用テキスト:なし ※実践英語1および2で使用したテキストを引き続き使用する。	その他参考文献など: Netflix / Amazon Prime / Hulu / U-next / Disney + などの動画配信サイトへの登録が望ましい。				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 実践英語2から引き続きTOEIC対策および動画を用いたアクティビティを実施します。TOEIC対策はリーディング(Part 7)をメインに、動画は、実践英語1,2で扱ったものより質量ともにハイレベルなものを取り上げます。これまでに学習した内容をしっかり身につけた上で受講してください。					

国際観光学科

科目名: 英語コミュニケーションⅢ				担当教員 氏名: 斎藤 ティム、斎藤 望	
単位	開講時期(年次・期)	科目的区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	前期	総合科目	演習	必修
実務経験を用いてどの教員は、それぞれの観光および教育のキャリアにおける幅広い経験を示し、理論を実際の事例で説明し、ような授業を行っている実践的な体験の機会を提供することにより、学生の意欲を引き出しながら、教授する。					
授業科目的学習教育目標の概要:					
国際化、グローバル化が進み、英語を使う機会は日常生活のみならず、様々な職場で求められている。日本人以外の上司、同僚、部下が各企業に増えていることも事実である。このような社会的ニーズを踏まえてこの授業ではできるだけ英語を話し、英語で考え、英語で表現することに慣れ、在学中に実践的レベルに達することを目指している。授業はすべて英語で行われる。また英語によるプレゼンテーション、観光地ガイドィングなども学ぶ。					
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福延マトリクスで示される番号)		キーワード	
A 知識・理解力		英語という言葉を理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。			
H コミュニケーション力		言語や、身体を用いて他者に理解を深め、コミュニケーションができる。		観光英語、コミュニケーションスキル	
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 50 %	レポート: 30 %	発表: %	実技試験: %	その他: 20 %	
特記事項:					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プrezentation 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: テストやレポートを行なう。授業の進捗状況は、クラスの進み具合を踏まえ、フレキシブルに対応する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストやレポートのフィードバックは、個別に指導する。					
授業計画				準備学習(予習・復習等)	
				学習内容	学習に必要な時間(分)
① Introduction, course outline, orienting activities 第1回: English for Global Understanding Globalization in business and culture Business manners				Introduction to English for Global understanding	60 minutes
② English for workplaces				Making small talk with colleagues; Introducing business guests to colleagues	60 minutes
③ English for entertaining guests				Welcome someone to Japan; Asking about someone's background	60 minutes
④ 第2回: English for Global Understanding Names, titles and terms of respect Business etiquette				Comparison of Japanese and overseas etiquette	60 minutes
⑤ English for interacting on the phone				Leaving a message on an answering service; Leaving a message by phone; Taking a message in advance	60 minutes
⑥ English for customer service 1				Making appointments; Filling out forms and templates; Making and handling complaints	60 minutes
⑦ 第3回: English for Global Understanding Individualism and group spirit Working overseas Homework task: Short report 1				Comparative study of cultural approaches to work/life balance	60 minutes
⑧ English for customer service 2				Making inquiries; Correcting miscommunications; Making transactions	60 minutes
⑨ English for formal situations				Conducting formal meetings; Welcoming customers and guests	60 minutes
⑩ 第4回: English for Global Understanding Coping with language and culture shock Hospitality and friendship				Cultural sensitivity to the nuance in language	60 minutes
⑪ English for scheduling				Setting and communicating a schedule	60 minutes
⑫ English for emails and formal writing 1				Writing and responding to business emails	60 minutes
⑬ 第5回: English for Global Understanding Negotiations: cultural differences Negotiating for "win-win" solutions Homework task: Short report 2				English for asserting a position and compromising	60 minutes
⑭ English for emails and formal writing 2				Teacher-guided, scaffolded preparation time	60 minutes
⑮ English for emails and formal writing				Assessment of presentations	60 minutes
使用テキスト: Lesson materials provided in class 適宜資料配布				その他参考文献など:	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):					

国際観光学科

科目名: 英語コミュニケーションV			担当教員 氏名: 斎藤 ティム、斎藤 望		
単位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	2年次	前期	総合科目	演習	選択
実務経験を用いてどの教員は、それぞれの観光および教育のキャリアにおける幅広い経験を示し、理論を実際の事例で説明し、実践的のような授業を行っている。な体験の機会を提供することにより、学生の意欲を引き出しながら、教授する。					
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード	
実践英語や英語コミュニケーションの授業の進化系として、観光通訳、英語ガイディングに特化した技術を学ぶ。日本の文化や歴史、観光資源などについて英語で的確に表現できる訓練を行う。観光ガイディングのプレゼンテーションのほか、音読訓練法の基礎、シャドウイング訓練、観光通訳論等、理論と実践を組み合わせて進行する。英語コミュニケーションIVをステップアップしたものである。				観光英語、コミュニケーションスキル、観光通訳及びガイドスキル	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福袋マトリックスで示される番号) 1, 2, 3, 4, 5, 9			
A 知識・理解力		英語という言葉を理解とともに、学んだ知識をつないでいくことができる。			
B 専門的技術		通訳、ガイディングなどの技術を活用し、社会貢献、自己実現ができる。			
C コミュニケーション力		言語や身体を用いて他者との理解を深めるコミュニケーションができる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学割および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: %	レポート: 35 %	発表: 35 %	実技試験: %	その他: 30 %	
特記事項:					
アクティブラーニング要素: テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: ミニ課題、プレゼンテーション、レポートを行う。授業の進捗状況は、クラスの進み具合を踏まえ、フレキシブルに対応する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: ミニ課題、プレゼンテーション、レポートのフィードバックは、個別に指導する。					
授業計画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
① Theme: The art of explaining			Course outline, introductions, ice breaking activities	60 minutes	
② Describing and explaining things			Illustrating with image rich language, adjective order, and describing form and function	60 minutes	
③ Describing and explaining places			Explaining geographical place, accessibility, regional characteristics, climate and atmosphere	60 minutes	
④ Describing and explaining events			Explaining events, festivals, traditions and cultural customs	60 minutes	
⑤ Providing additional context			Contextualizing explanations with examples, illustrations, language devices and cultural and historical background	60 minutes	
⑥ Rehearsal: giving a short, guided tour			Practice giving explanations with virtual artefacts	60 minutes	
⑦ A: Unseen individual interviews			Assessment A: Conduct interviews	60 minutes	
⑧ Theme: Introduction to service quality			Important considerations for tourism employees	60 minutes	
⑨ More about service quality B: Short Homework Assignment			Practical illustrative scenarios Assessment B: Submission	60 minutes	
⑩ Introduction to risk management			Risk management in the field of tourism	60 minutes	
⑪ Risk management case studies			Examining risk analysis case studies	60 minutes	
⑫ Developing a framework for risk analysis			Deconstruction of existing tools and development of group instrument	60 minutes	
⑬ Group fieldwork			Conducting field analysis and compiling a short report	60 minutes	
⑭ Report writing focus and preparation			Scaffolding and examples, templates and report writing skills	60 minutes	
⑮ C: Final report submission, reflection and feedback			Assessment C: Field report	60 minutes	
使用テキスト: 適宜資料配布			その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):					